



AZ/TOKUSHIMA

令和6年度第1回徳島県
東部地域医療構想調整会議

資料2

令和6年6月24日

地域医療提供体制データ分析チーム 構築支援事業 ～事業概要説明～

徳島県保健福祉部医療政策課

次 第

1 | **事業概要**
国の事業目的、事業採択までの経緯、他県状況について

2 | **実施体制**
検討チーム、データ分析チームなどの体制について

3 | **事業スケジュール**
全体スケジュール（検討チーム、データ分析、その他）について

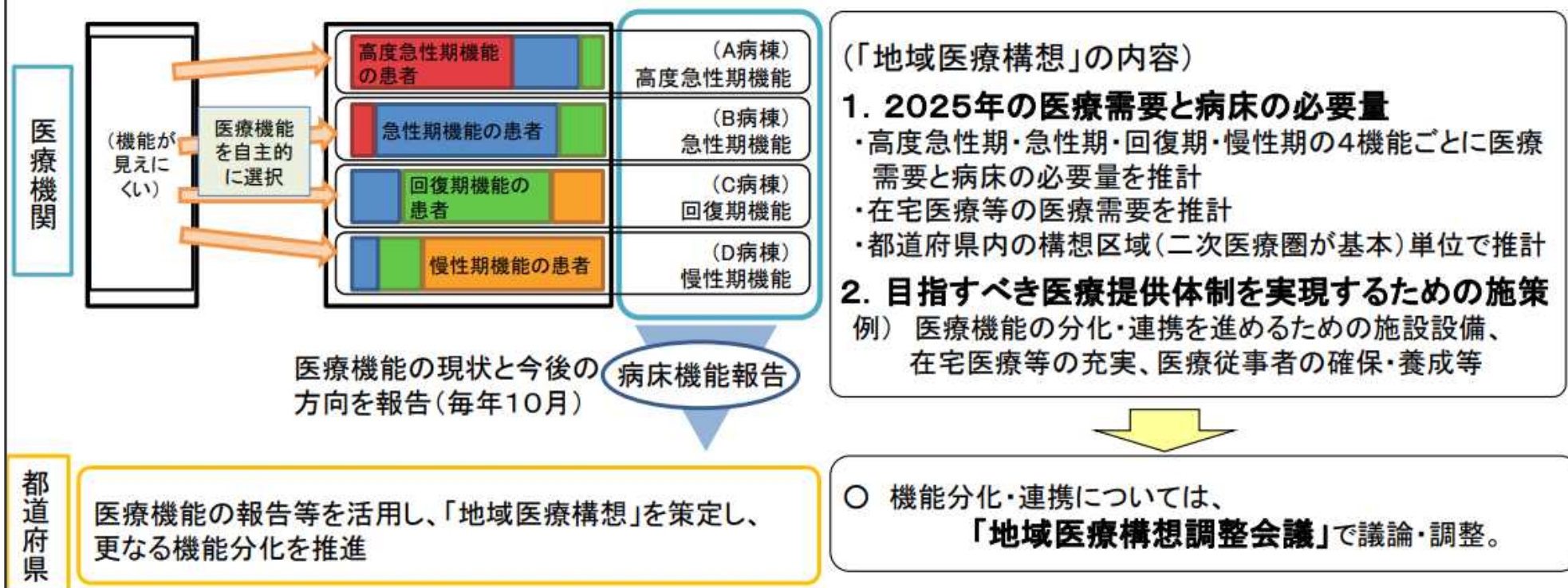
4 | **分析内容**
事業の分析方針（案）

5 | **その他**
分析結果のフィードバック方法について

1.事業概要（厚生労働省説明資料より）

地域医療構想について

- 今後の人口減少・高齢化に伴う医療ニーズの質・量の変化や労働力人口の減少を見据え、質の高い医療を効率的に提供できる体制を構築するためには、医療機関の機能分化・連携を進めていく必要。
- こうした観点から、各地域における2025年の医療需要と病床の必要量について、医療機能（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）ごとに推計し、「**地域医療構想**」として策定。
その上で、各医療機関の足下の状況と今後の方向性を「**病床機能報告**」により「見える化」しつつ、各構想区域に設置された「**地域医療構想調整会議**」において、病床の機能分化・連携に向けた協議を実施。



2025年までの現構想に加え、現在国において、2040年に向けた新たな構想を検討中

1.事業概要（厚生労働省説明資料より）

新規

推進枠

地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業

医政局地域医療計画課（内線2663）

令和6年度概算要求額 4.5億円（一）※（一）内は前年度当初予算額

※令和4年度第二次補正予算額 3.0億円

1 事業の目的

- 〇 都道府県は、令和6年度において、第8次医療計画（令和6～令和11年度）の開始や2025（令和7）年に向けた地域医療構想の実現のため、医療提供体制の構築を着実に進めるとともに、構築した体制についてPDCAサイクルを実施するため医療提供体制に関する評価・分析を行う必要がある。
- 〇 令和7年度に都道府県において次期地域医療構想の策定等を行うことが見込まれていることから、データ分析チームの構築は優先して実施が必要。
- 〇 地域医療構想策定には、**地域の現場感覚とマッチしたデータ分析**が必要であるため、都道府県における**データ分析体制の構築**を支援。
- 〇 分析事例を集積し、**分析体制のベストプラクティス**を快討・実践することで、計画策定に際し、2025（令和7）年に向けた地域医療構想の推進について、都道府県が**自立的に分析・企画・立案できる体制**の整備に繋げる。
- 〇 令和5年度（令和4年度第2次補正予算）で実施した当事業の結果を**より多くの都道府県にフィードバック**して展開。

2 事業の概要

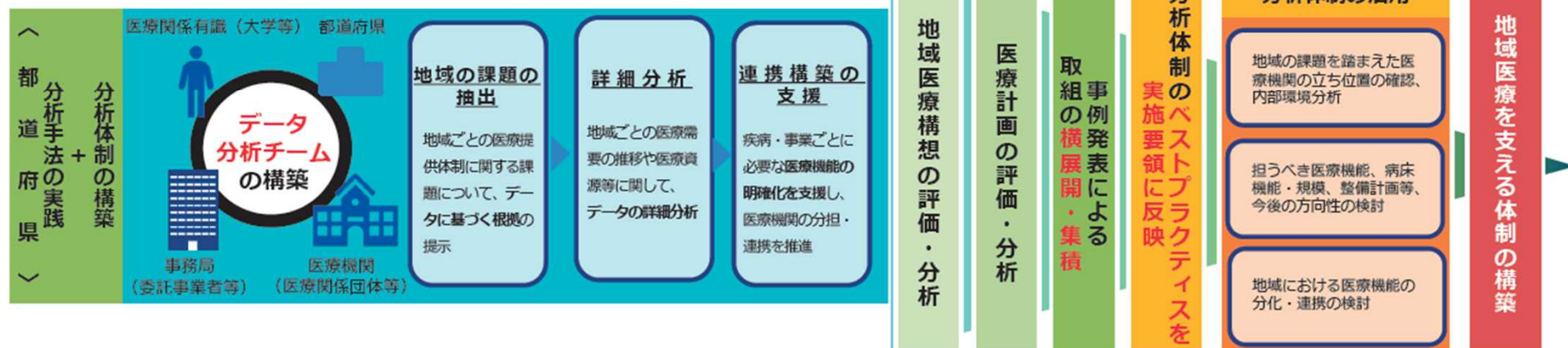
- 〇 都道府県を対象に、**都道府県におけるデータ分析チームの構築**を支援する。
- 〇 都道府県は、データ分析チームを活用して、地域（二次医療圏、構想区域）の詳細分析を実施することにより、**一層地域の実情に即した地域医療構想の評価**が可能となる。
- 〇 都道府県は、分析体制や分析結果、計画策定におけるデータに基づく議論の成果について事例発表を行い、**取組の横展開**や**事例の集積**を図り、次年度の実施要領に反映。

3 事業スキーム・実施主体等

補助基準額：1箇所当たり30,000千円 補助率：定額
実施主体：都道府県 負担割合：国10/10

分析体制・分析手法の実践、分析体制の構築、事例の横展開・集積

分析体制の検証と活用



1.事業概要

● 事業採択までの経緯

- R5.10～ 県医師会主催の医療政策講演会（講師：厚生労働省松本課長補佐）を契機に徳島大学と事業実施の打ち合わせ開始
- R5.12～ 検討チームへの参画依頼を開始
- R6.2 厚労省に企画書を提出
- **R6.3末 厚労省より事業採択の連絡**

● 他県状況

R5（6県） 栃木県、神奈川県、富山県、新潟県、京都府、岡山県

R6（11県） 2回目採択（2年連続）：栃木県、神奈川県、富山県、京都府、岡山県

1回目採択：茨城県、千葉県、長野県、和歌山県、**徳島県**、熊本県

2. 事業体制

地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業（実施体制図）

分析項目検討チーム

取組み

地域医療における課題の設定
分析項目の検討、分析結果の評価
分析結果の活用方法の提案
地域医療構想調整会議への説明
地域医療勉強会の企画 等

構成員

徳島大学（病院長、医学教育分野教授）
徳島県医師会（常任理事）
地域医療支援センター（副センター長）
地域医療構想アドバイザー
徳島県（医務技監、保健所長） 他

事務局（徳島県医療政策課）

・事業の運営 ・予算執行 ・データ取得支援 ・会議等の開催と周知 ・関係機関への連絡 ・県庁内の連携 等

協力

データ分析チーム

取組み

情報管理体制の構築
分析手法の検討とデータ分析の実施
統計解析と結果取りまとめ
地域医療構想調整会議への説明の補助
勉強会資料の作成と説明 等

構成員

徳島大学医学部（公衆衛生学教授、家庭医療学教授、地域看護学教授）
徳島県保健福祉部（公衆衛生医師） 他



徳島大学への
委託

協議

地域医療構想調整会議（各構想区域）

地域医療の現状の把握と将来の医療提供体制について協議
必要に応じて、具体的な課題を設定し、詳細な解析を依頼

開催

地域医療勉強会

データ解析結果に基づき地域医療の現状と将来を学ぶ
レセプトデータの解析について学ぶ

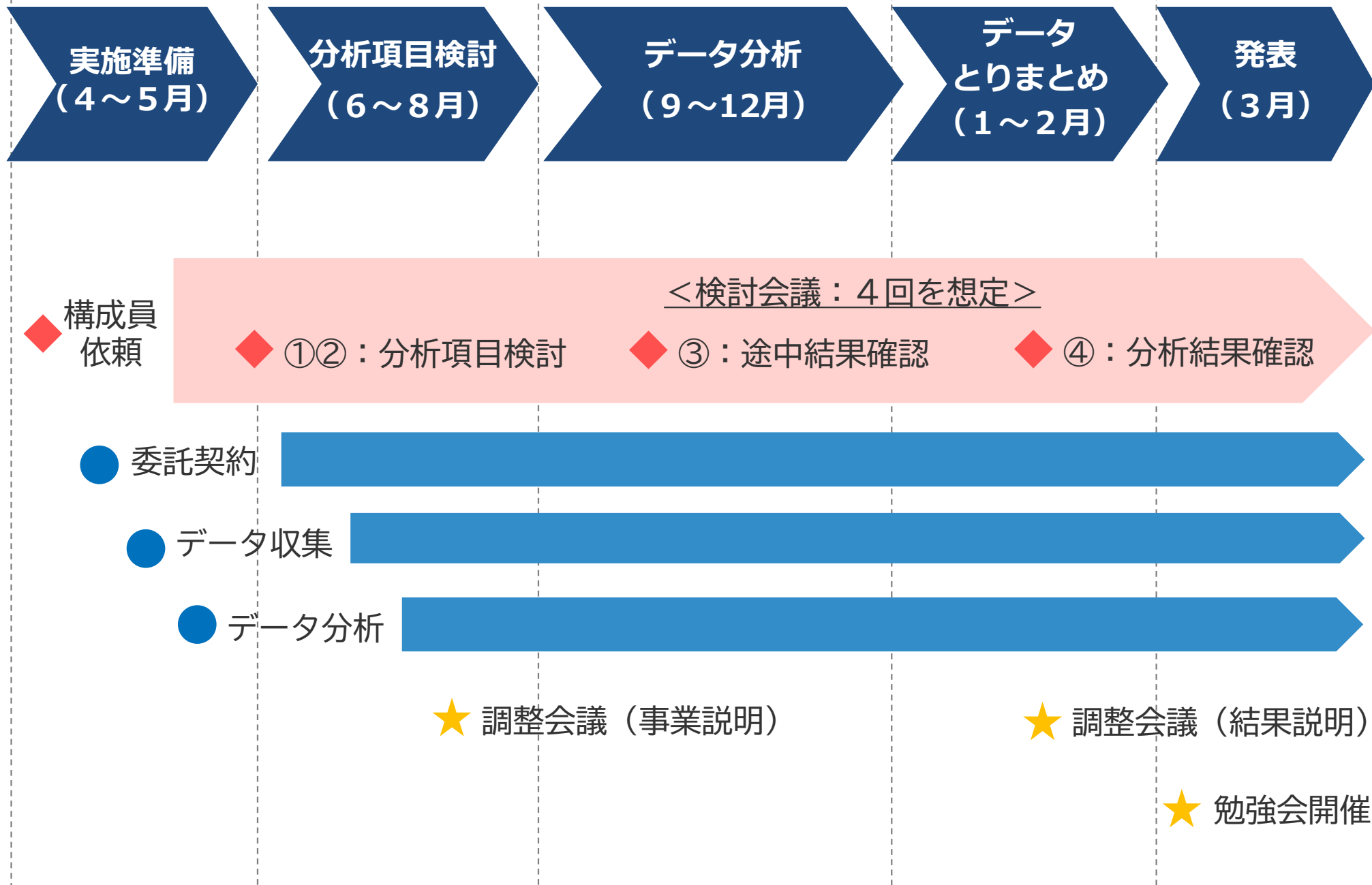
2.データ分析チームメンバー

(2024年5月20日現在)

森岡 久尚	徳島大学大学院医歯薬学研究部公衆衛生学分野教授
八木 秀介	徳島大学大学院医歯薬学研究部地域・家庭医療学分野教授
岡久 玲子	徳島大学大学院医歯薬学研究部地域看護学分野教授
松下 恭子	徳島大学大学院医歯薬学研究部地域看護学分野准教授
森 喜郎	徳島大学大学院医歯薬学研究部公衆衛生学分野助教
中川 和美	徳島大学大学院医歯薬学研究部公衆衛生学分野大学院生
臣永 歩	徳島大学大学院医歯薬学研究部公衆衛生学分野大学院生

3.事業スケジュール

◆ 項目検討
● データ分析
★ その他



4.分析の方向性

- データに基づく、徳島県内の**地域別（二次医療圏又は市町村）の住民医療ニーズ**（疾病レセプト出現数・患者数）の**現状把握と将来予測（推計）**を行う。
- 医療ニーズの変化について、「見える化」を行い、地域医療構想を含めた、医療提供体制の議論の活性化に貢献する。

5.その他（分析結果のフィードバック方法）

- R6.6月 地域医療構想調整会議

事業趣旨、実施体制、スケジュール、分析方針を説明

- R7.2月 地域医療構想調整会議

分析結果について説明

→地域医療構想関係者（委員）へのフィードバック

- R7.3月 地域医療勉強会

分析結果について説明

→民間医療機関へのフィードバック

（県医師会主催の医療政策講演会との連携を想定）